

令和7年度

学校推薦型選抜

(連携指定校型)

学生募集要項

(大学入学共通テストを課す)

芸 術 工 学 部
総 合 生 命 理 学 部

名古屋市立大学

目 次

教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
1 募集人員・推薦人員	6
2 出願資格	6
3 障害等を有する入学志願者との事前相談	8
4 出願手続	8
5 入学者選抜方法等	11
6 合格発表	12
7 入学手続	13
8 入学初年度納付金額	13
9 入学後に必要となる主な経費について	14
10 合格者が入学を辞退した場合の取扱い	14
11 その他の留意事項	14
12 個人情報の取扱い	15
13 簡易成績開示	16
14 試験場及び学生課入試係案内	17
15 芸術工学部・総合生命理学部の概要	19

緊急時における大学からのお知らせについて

本募集要項の内容を変更する必要がある場合や、災害の発生時などの緊急時の連絡は、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。

○本学ウェブサイト
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/>



名古屋市立大学

《教育に関する目標》

教育は、学部・大学院を問わず、大学が社会や学生・大学院生に対して果たす最優先の責務であり、その強化に取り組む。そして、あらゆる機会を通じて幅広い視野と教養、「共生」の精神、豊かな創造性を身につけた人材を育成する。また、高度な知識と技術を身につけ、目的意識と主体性を持って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人材を育成する。

《アドミッション・ポリシー》

名古屋市立大学では、各学部がその理念と目的に応じて、入学者選抜試験における教科・科目を設定しており、明確な目的意識と勉学への強い意欲を持ち、大学の教育に関する目的を理解し、次のような資質を有する多様な学生を求めます。

- 十分な基礎学力とそれに裏打ちされた知識・技能
- 自ら課題を発見・解決し、それを伝える思考力・判断力・表現力
- 主体性を持ち、幅広い視野で多様な人々と協働して学ぶ態度
- 豊かな人間性と、地域や社会で活躍できる適性

芸術工学部

《理念と目的》

- デザイン、芸術と工学分野の幅広い知識と理論を学ぶことにより、環境の持続可能性、健康福祉など、社会的要請の強いテーマに対する問題解決能力を養います。
- デザインと工学分野の専門的知識、理論、技法を学ぶことにより、形態と機能のバランスを保ったデザイン力を養います。
- デザインの実践教育の場として、少人数学習によるデザイン実習を重視しています。
- 外国人教師による講義やワークショップ等での実習指導により、国際的に活躍できる人材を養成します。

《情報環境デザイン学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

情報環境デザインへの知的関心と探究心を持ち、メディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わる、デザイナー、クリエイター、技術者等として、国内外の情報デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 理学と情報通信、および、芸術に強い関心を持つ人
- 情報通信、メディア工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、メディアや情報により提案できる人
- 学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫のできる人

る人

- 理学、情報通信、芸術の融合による、情報、映像、音響などのメディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わるデザイナー、クリエイター、技術者等を目指す人
- 幅広い基礎学力と知識、数学、英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 情報通信、メディア工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力
- 外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- 文章の読解、考えの文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

選抜方法

- 大学入学共通テストでは4教科5科目の試験を課し、情報工学・デザインを学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。個別学力検査は課さない。

《産業イノベーションデザイン学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

産業イノベーションデザインへの知的関心と探究心を持ち、工学およびデザイン分野においてイノベーションを創出できる技術者およびデザイナーとして、国内外の産業デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 現代社会の諸問題を、芸術的手法および工学的手法で解決することに興味を持つ人
- 電子・情報・ロボット工学などの先端工業技術およびプロダクト・グラフィックなどの高度デザイン技術を積極的に学びたい人
- デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し工学およびデザインの知識により解決策を提案できる人
- 学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫できる人
- 幅広い基礎学力と知識、数学、英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 電子・情報・ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学び、これらの理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力
- プロダクト・グラフィック・3DCG 分野のデザイン実習や造形の実習で、自由な表現を可能とするための描写力と構想力
- 外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- 文章の読解、考えの文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

選抜方法

- 大学入学共通テストでは4教科5科目の試験を課し、工学・デザインを学ぶ上で必要な

基礎学力を評価する。個別学力検査は課さない。

《建築都市デザイン学科 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

建築・都市分野への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、設計者や技術者等として、国内外の建築・都市分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 建築・都市分野への強い関心とデザインへの興味を持つ人
- 継続的な努力ができる人
- 自分を律し、責任感と倫理観を備える人
- 人間性豊かな感性と探究心を持つ人
- 大学院への進学意欲を持ち、建築・都市分野の発展に寄与する意欲のある人
- 多様な社会や異文化に興味を持つ人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 建築学・都市学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
- 文章の読解、考えの文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力と英語力
- 建築学・都市学および人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養

選抜方法

- 大学入学共通テストでは6教科7科目の試験を課し、建築学・都市学を学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。個別学力検査は課さない。

総合生命理学部

《理念・目的》

人材養成に関する目的

- 生命科学を中心に、自然科学全般と数理情報科学の基礎を身に付けた上で専門分野を学修することで、柔軟な思考ができる人材を養成する。
- 理学の総合的な学修を通じて、情報収集力、論理的思考力、企画力、実行力を備え、イノベーションの創出に貢献する人材を養成する。
- グローバルな視野を持ち、地域社会の発展に貢献する人材を養成する。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 生命科学、物質科学、数理情報科学のいずれか、又は複数に関心があり、好奇心を持って自ら学ぼうとする意志のある人
- 理学を学ぶための基礎学力と語学力（国語力・英語力）を修得している人
- 現象を観察し、そこに様々な疑問を持ち、その解決に強い興味を持つ人
- 論理的な思考能力で適切に判断し、結論を導ける人
- 主体的に行動し、協調性や高い倫理観を持って諸問題に対処できる人
- 自らの考えを適切に他人に伝え、互いの考えを深められるコミュニケーション力を持つ人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 高等学校等で学ぶ理系科目及び文系科目の高い学力を有すること
- 理系科目の学修に必要な数学的素養を身につけていること
- 高等学校等で学ぶ語学（国語及び英語）に関する知識及び能力を有すること
- 論理的な思考能力を有すること

選抜方法

- 大学における学修に必要な基礎学力を大学入学共通テストで確認します。課題研究のプレゼンテーションによって、高等学校での課題研究における活動状況を評価します。面接ではさらに、科学に関する好奇心や探究心、および高大連携イベントに対する取り組み状況などを総合的に評価します。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、使用するとは限りません。

1 募集人員・推薦人員

学 部	学科	募集人員	高等学校の推薦限度人員
芸術工学部	情報環境 デザイン学科	若干名	1名
	産業イノベーション デザイン学科	若干名	
	建築都市 デザイン学科	若干名	
総合生命理学科	総合生命理学科	1名	1名

2 出願資格

《芸術工学部》

(情報環境デザイン学科・産業イノベーションデザイン学科)

本学芸術工学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当する者

- (1) 本学が指定する高等学校を令和6年3月に卒業又は令和7年3月に卒業見込みの者 *1
- (2) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者
- (3) 令和7年度大学入学共通テストで以下の4教科5科目を受験する者

教 科	科 目
国語	国語
数学	数Ⅰ，数A
	数Ⅱ，数B，数C
外国語	英語 *2
情報	情報Ⅰ

*1 名古屋市立高等学校から指定し、当該高校へ別途通知する。また、推薦は1つの高等学校につき、情報環境デザイン学科、産業イノベーションデザイン学科、建築都市デザイン学科合わせて1名を限度とする。

*2 英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

- (4) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

(建築都市デザイン学科)

本学芸術工学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当する者

- (1) 本学が指定する高等学校を令和6年3月に卒業又は令和7年3月に卒業見込みの者 *1
- (2) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者

(3) 令和7年度大学入学共通テストで以下の6教科7科目を受験する者

教科	科目
国語	国語
数学	数Ⅰ，数A
	数Ⅱ，数B，数C
外国語	英語 *2
地理歴史	「歴史総合，世界史探究」、「歴史総合，日本史探究」、「地理総合，地理探究」、「地理総合／歴史総合／公共」（この中から2出題範囲選択）、「公共，倫理」、「公共，政治・経済」から1科目選択 *3
公民	
理科	物理、化学、生物、地学から1科目選択 *3
情報	情報Ⅰ

*1 名古屋市立高等学校から指定し、当該高校へ別途通知する。また、推薦は1つの高等学校につき、情報環境デザイン学科、産業イノベーションデザイン学科、建築都市デザイン学科合わせて1名を限度とする。

*2 英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

*3 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

《総合生命理学部》

本学総合生命理学部への入学を強く希望し、以下の各号の全てに該当する者

- (1) 本学が指定する高等学校・学科を令和7年3月に卒業見込みの者 *1
- (2) 調査書の数学、理科、英語の評定を平均した値が3.2以上（目安）である者
- (3) 将来、基礎自然科学または数理情報科学分野の研究・発展に対して貢献が期待できる能力及び適性等を有する人物として、当該高等学校長が責任をもって推薦する者
- (4) 本学がこれまでに実施した高大連携に係るイベント「大学丸ごと研究室体験」又は「名古屋市立大学高大連携授業」（いずれも理学研究科に所属する教員が担当するものに限る。）に参加した実績がある者

(5) 令和7年度大学入学共通テストにおいて、以下の6教科8科目を受験する者

教科	科目
国語	国語
数学	数Ⅰ，数A
	数Ⅱ，数B，数C
理科	物理、化学、生物、地学から2科目選択
地理歴史	「歴史総合，世界史探究」、「歴史総合，日本史探究」、「地理総合，地理探究」、「地理総合／歴史総合／公共」（この中から2出題範囲選択）、「公共，倫理」、「公共，政治・経済」から1科目選択 *2
公民	
外国語	英語 *3
情報	情報Ⅰ

- *1 名古屋市立高等学校・理数科の中から指定し、当該高校へ別途通知する。
 - *2 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
 - *3 英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。
- (6) 数学Ⅲ及び数学C、またはこれらに相当する科目を履修した者（見込みの者を含む）
- (7) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

3 障害等を有する入学志願者との事前相談

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和6年12月3日(火)までに必ず本学へ申し出てください。

(1) 相談の方法

受験事前相談・配慮措置申請書（診断書等の必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる高等学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先 本学 学生課入試係（TEL 052-853-8020）

4 出願手続

インターネット出願システムで出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行った後に、出願期間内に出願書類を郵送又は持参により提出してください。（出願期間内に本学へ書類が到着しない場合は、受験できませんのでご注意ください。）

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>インターネット出願について
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/internet/>

インターネット出願システムに入力する際、専用のパスワードが必要です。10月中旬頃に本学が指定する高等学校に別途通知します。

【インターネット出願システムを利用した出願の流れ】

①出願情報の登録	インターネット出願システムへの登録期間にパソコンやスマートフォンから、本学のインターネット出願システムにアクセスし、画面の指示に従って出願情報を登録してください。
②出願情報の確認	入学検定料の支払い前に 登録した内容に誤りがないか必ず確認してください。入学志願票（確認用）を印刷して確認することもできます。
③入学検定料の支払い	検定料の支払い方法を選択し、入学検定料17,000円+支払手数料を支払ってください。支払い方法は以下のいずれかの方法です。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・ネットバンキング ・ペイジー対応銀行ATM
④入学志願票等の印刷	入学志願票（提出用）、電算入力票及び宛名ラベルを印刷してください。
⑤出願書類の提出	「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を本学学生課入試係へ書留速達郵便で送付又は窓口を持参してください。

※出願情報の登録だけでは出願手続きは完了しません。下記出願期間内に「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を郵送又は持参により提出することで完了します。

(1) 出願期間

令和7年1月20日(月)から令和7年1月24日(金)16:00(必着)

※消印有効ではありませんので、郵便事情を考慮して早めに送付してください。

持参の場合、窓口での受付時間は上記出願期間の9:00~17:00まで(最終日の1月24日(金)のみ16:00まで)です。

※インターネット出願システムへの登録期間は、令和7年1月14日(火)9:00から令和7年1月24日(金)16:00までです。

(2) 出願書類の郵送先・提出先

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地 桜山キャンパス
名古屋市立大学 学生課入試係

(3) 出願書類の提出方法

- ア 書留速達郵便で送付又は窓口を持参してください。
- イ 出願期間を過ぎた郵便は受理しません。

(4) 出願に必要な書類等

本学所定の様式(志願理由書、推薦書、推薦入学確約書)については、本学ウェブサイトに掲載しています。

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>学生募集要項(一般・推薦・留学生・帰国生徒等)

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/guide/>

から様式をダウンロードの上、作成してください。

	書 類 等	説 明
からインターネット出願システム	① 入学志願票 (提出用)	<ul style="list-style-type: none"> ・顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから白色のA4用紙に印刷してください。(カラー、モノクロのどちらでも可) ・顔写真データは上半身、無帽、正面向き、背景なし、カラー、出願前3か月以内に撮影したものをアップロードしてください。 ・入力上の留意事項については10ページを参照
	② 電算入力票	
	③ 宛名ラベル (出願封筒用)	<ul style="list-style-type: none"> ・顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから、白色のA4用紙に印刷したものを市販の角型2号封筒(各自でご用意ください。)に貼り付け、出願に必要な書類を封入してください。
	④ 大学入学共通テスト成績請求票	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度大学入学共通テスト成績請求票の「国公立推薦型選抜用」を、「①入学志願票(提出用)」の所定の欄に貼ってください。(紛失等により成績請求票の再発行を受けた場合は、必ず再発行された成績請求票を貼ってください。)

本学ウェブサイトに掲載する出願書類所用紙	⑤ 志 願 理 由 書 (総合生命理学部のみ)	・ 本学所定の用紙により本人が作成したもの
	⑥ 推 薦 書	・ 本学所定の様式により学校長が証明し、密封したもの ・ A4用紙両面印刷し、書式を変更せず、指定された枠のサイズ内に記してください。
	⑦ 推 薦 入 学 確 約 書	・ 本学所定の用紙に志願者が署名及び学校長が記名、押印したもの
その他必要な書類	⑧ 調 査 書 ※旧姓(名)の調査書や証明書を使用する場合は、戸籍抄本等、姓(名)の変更が確認できる書類を合わせて提出してください。	・ 学校長が証明し、密封したもの ・ 廃校・被災等その他の事情により調査書が得られない場合には、令和6年12月3日(火)までに本学 学生課入試係にお問い合わせください。

(5) 入学検定料の返還

ア 大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者等に対しては、13,000円を返還します。該当者には、出願無資格通知の際に本学所定の書類によりお知らせします。

イ 上記アの場合以外は原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、次の場合は、納入された入学検定料を返還します。詳細は本学ウェブサイト (<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/fee/refund/>) をご覧ください。

- ・ 二重で支払いをした場合
- ・ 入学検定料等の支払い後、出願書類を提出しなかった場合（出願が受理されなかった場合も含む）

(6) 受験票のダウンロード及び印刷

受験票は令和7年2月7日(金)10:00から、インターネット出願システムよりダウンロード及び印刷が可能となります。各自で印刷の上、試験当日持参してください。また、受験票は合格発表時の受験番号確認等で使用しますので、対面での試験を実施しない学部についても、ダウンロードしてください。

(7) 受験案内

受験案内は本学ウェブサイトに掲載いたします。試験場や集合場所、その他受験上の注意事項は受験案内で必ずご確認ください。

本学ウェブサイト>入試情報>入試実施状況>受験案内

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/application-status/guide/>

掲載期間：令和7年2月7日(金)10:00から

(8) インターネット出願システム入力上の留意事項

ア 「居住地」の欄は、名古屋市在住の方で、志願者又は配偶者若しくは1親等の親族が入学の日(4月1日)において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していることを住民票により証明できる方(名古屋市住民等)は「名古屋市内居住(1年以上)」を、名古屋市内に住所を有している期間が1年未満の方は「名古屋市内居住(1年未満)」を、名古屋市外に居住の方は「名古屋市内居住ではない」を選択してください。

- イ 「住所等」の欄は、令和7年4月上旬まで確実に連絡を受けることができる連絡先を入力してください。
- ウ 「メールアドレス」欄は、パソコン・携帯電話の両方を持っている場合は、どちらか一方のアドレス（確実に受信できるもの）を入力してください。
- エ 「緊急連絡先」欄は、本人に連絡がとれないときに確実に連絡できる方（保護者等）を入力してください。
- オ 「履歴事項」欄は、高校卒業以後から入力してください。（卒業見込み者は入力不要）

5 入学者選抜方法等

《芸術工学部》

出願書類及び大学入学共通テストの成績（下表）による審査の結果を総合して入学者の選抜を行います。

個別学力検査等は課しません。

(1) 情報環境デザイン学科・産業イノベーションデザイン学科

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

教科等 試験	国語	数学	外国語	情報	計
大学入学 共通テスト	200	200	200	50	650

※ 「数学」は各科目100点満点、「国語」及び「外国語」は200点満点とし、「情報」は50点満点とする。なお、「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

(2) 建築都市デザイン学科

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

教科等 試験	国語	数学	外国語	地理 歴史	公民	理科	情報	計
大学入学 共通テスト	100	100	100	50		50	25	425

※ 「国語」及び「外国語」は100点満点とし、「数学」、「地理歴史、公民」及び「理科」は各科目50点満点、「情報」は25点満点とする。なお、「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。

《総合生命理学部》

面接試験（課題研究発表および口述）を実施します。

出願書類、大学入学共通テストの成績及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行います。

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

教科等 試験	国語	数学	外国語	地理 歴史	公民	理科	情報	計
大学入学 共通テスト	100	100	100	50		150	50	550

- ※ 「国語」は100点満点とする。
- ※ 「数学」は各科目50点満点とする。
- ※ 「外国語」は100点満点とする。なお、「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。ただし、大学入試センターから難聴等によりリスニングを免除されている場合は、配点比率をリーディング100%として算出する。
- ※ 「地理歴史、公民」は50点満点とする。なお、「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
- ※ 「理科」は各科目75点満点とする。
- ※ 「情報」は50点満点とする。

教科等	評価のポイント
面接 (課題研究発表を含む。)	<p>科学に関する好奇心や探究心、高等学校での課題研究における活動状況、本学理学研究科に所属する教員が担当する高大連携イベントに対する取り組み状況などを総合的に評価します。</p> <p>形式は個人面接とします。最初の15分を課題研究発表の時間とします。高等学校在学中に行った課題研究を発表してください。発表で必要なもの（ポスターなど）は持参してください。（パソコンの使用も可能ですが、その場合はパソコンを持参してください。）</p> <p>その後、面接を15分程度で行います。課題研究や志願理由書の内容についての質問も行います。</p>

面接集合日時・場所

令和7年2月9日（日）

詳細は、受験案内でお知らせします。

名古屋市立大学 滝子キャンパス（17・18ページ図参照）

※桜山キャンパスではありませんので注意してください。

6 合格発表

(1) 日 時 令和7年2月12日（水）17:00

(2) 方 法 合格者の受験番号を本学ウェブサイトに掲載するとともに、学校長に合否結果、合格者に入学許可書及び入学手続関係書類を送付します。
(電話等による合否に関する問合せには一切応じません。また、掲示板等での掲示はありません。)

不合格者には送付しませんので、必ず本学ウェブサイトで可否を確認してください。

本学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

なお、合格しているにもかかわらず通知が、令和7年2月14日（金）16：00までに未到達の場合に限り、同日17：00までに本学 学生課入試係（TEL 052-853-8020）にお問い合わせください。

学校推薦型選抜の合格者は、他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く※。以下同じ）及び本学の各学部を受験しても合格対象者とはなりません。※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ウェブサイト（<http://www.kodaikyo.org/nyushi/>）で確認ください。

7 入学手続

- (1) 日 時 令和7年2月19日（水）13：00～16：00
- (2) 場 所 本学 **桜山キャンパス**総合情報センター3階さくら講堂
(17・18 ページ図参照)
- (3) 方 法 大学入学共通テストの受験票・本学の受験票及び入学時納付金納付証明書等（詳細は合格者に送付する「入学手続のお知らせ」でお知らせします。）を持参して手続してください。ただし、郵送による手続も可能です。

※ 学校推薦型選抜合格者が、令和7年2月19日（水）に入学手続を行わないときは、合格者としての権利を失いますので注意してください。（郵送による手続の場合は書留速達郵便で令和7年2月19日（水）正午必着）

※ 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。（本件で病院駐車場は利用できません。）

8 入学初年度納付金額

(1) 学 費

区 分	名古屋市住民等	その他の者
入 学 料	232,000円	332,000円
授 業 料	535,800円	535,800円
計	767,800円	867,800円

注1 入学料は入学手続時に納付してください。入学手続後の入学料の返還はできません。

注2 入学料、授業料は、令和6年度4月入学者の金額です。令和7年度入学者については改めてお知らせします。

注3 授業料は、入学後、年2回（前期・後期）に分けて引落を実施します。

注4 名古屋市住民等とは、①入学者又は②配偶者若しくは1親等の親族が入学の日（4月1日）において同日の前から引き続き1年以上の期間名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

注5 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

(2) 諸団体納付金

区 分	芸術工学部	総合生命理学部
後 援 会 費	60,000 円	60,000 円
同 窓 会 費	20,000 円 (萱光会)	20,000 円 (瑞滝会)
交 流 会 費	5,000 円	5,000 円
学 友 会 費	8,000 円	8,000 円
学生教育研究 災害傷害保険料	3,300 円	3,300 円
学 研 災 付 帯 賠償責任保険料	1,360 円	1,360 円
計	97,660 円	97,660 円

注 1 入学手続き時に入学料とあわせて納付してください。

注 2 上記金額については変更する場合があります。確定額については入学手続き書類送付時にお知らせします。

注 3 学生教育研究災害傷害保険は、入学時に全員加入となります。本学の教育研究活動中及び通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被る傷害に対して保険金が支払われます。

注 4 学研災付帯賠償責任保険は、入学時に全員加入となります。正課（実習等）、学校行事、課外活動及びその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。

9 入学後に必要となる主な経費について

入学以後、以下の経費が必要になります。

- ・リメディアル教育経費
- ・学外実習費等の経費

10 合格者が入学を辞退した場合の取扱い

特別の事情による場合は、推薦学校長と連署のうえ、その理由を記した「推薦入学辞退願」を令和 7 年 2 月 19 日（水）までに提出し、本学の許可を得てください。

許可を受けない場合は、国公立大学の個別学力検査（一般選抜）を受験しても、その合格対象者とはなりません。

11 その他の留意事項

- (1) 学校推薦型選抜の志願者は、国公立大学の一般選抜の併願について、前期日程から 1、後期日程から 1、公立大学中期日程から 1 の合計 3 までの大学・学部を選んで出願することができます。
- (2) 大学入学共通テストで本学の指定した教科・科目のうち、一つでも受験しないものがある場合には、失格者として扱い、本学の学校推薦型選抜を受験することができません。

なお、大学入学共通テストの外国語のうち、英語を選択する場合は、「リーディング」と「リスニング」の双方を受験することが必要です。いずれか一方を受験しなかった場合も、失格者として扱い、本学の学校推薦型選抜を受験することができませんので、特にご注意ください。（ただし、リスニング免除者は除く。）

- (3) 提出された出願書類は返却しません。
- (4) 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。
- (5) 大学入学共通テストの受験票及び本学の受験票は、入学手続や成績開示に必要ですから大切に保管しておいてください。
- (6) 本年度中に他の国公立大学及び本学のあなたが出願する学部以外の学校推薦型選抜に出願する（した）者は、本学校推薦型選抜に出願することはできません。
- (7) 芸術工学部の学校推薦型選抜 B（名古屋市高大接続型を含む）及び総合生命理学部の学校推薦型選抜（名古屋市高大接続型）と併願はできません。
- (8) インターネット出願システム又は出願書類に虚偽の登録又は記載をした場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- (9) 出願手続後に受信場所が変わったときは、速やかに郵便はがきで本学 学生課入試係へ連絡してください。
- (10) 本学では、出願書類受理証等は発行しません。書留速達郵便で出願する際は、郵便局の発行する書留郵便物受領証を必ず保管しておいてください。

12 個人情報の取扱い

個人情報については「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取扱います。

(1) 個人情報の利用

- ア インターネット出願システムに登録又は出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うため使用します。
- イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）
- ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- エ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。

(2) 業者への委託

- (1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

13 簡易成績開示

可否を問わず、個人別成績を簡易な手続により開示請求することができます。ただし、受験者本人以外が請求を行うことはできません。

(1) 範 囲

- ア 大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が課す教科・科目別得点の素点
- イ 面接の得点（総合生命理学部のみ）

(2) 請求方法

本学 学生課入試係に本学の受験票を持参して請求してください。郵送の場合は、封筒の表面に「簡易開示請求」と朱書し、以下のものを同封のうえ、簡易書留郵便にて郵送してください。

- ・ 本学の受験票
- ・ 返信用封筒（長形 3 号。受験者本人の住所・氏名及び郵便番号を明記して 460 円分の切手を貼付したもの。）

※複数の試験について同時に請求する場合も、返信用封筒は 1 枚で結構です。

- ・ 「名古屋市立大学入学試験に係る簡易開示請求書」に必要事項を記入したもの。
なお、「名古屋市立大学入学試験に係る簡易開示請求書」は、成績開示期間中に本学ウェブサイトからダウンロードできます。

(3) 期 間

- ア 郵送又は窓口での開示

令和 7 年 4 月 16 日（水）～ 令和 7 年 5 月 15 日（木）（必着）

※消印有効ではありません。

窓口受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

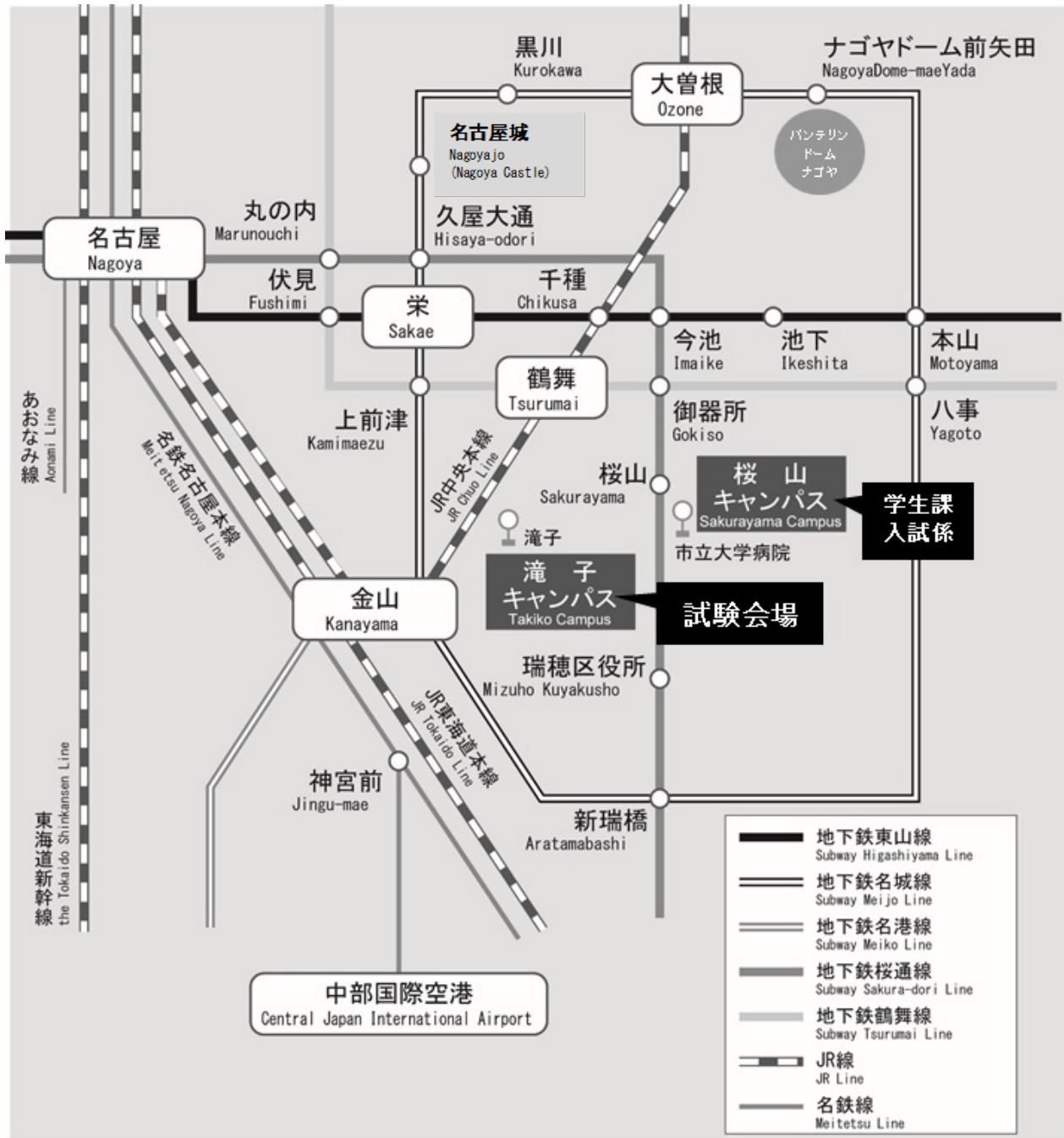
- イ 証明書自動発行機での開示

成績開示期間等は、入学後、別途案内します。

14 試験場及び学生課入試係案内

下記については参考として掲載しております。必ず直前にご自身で確認の上、ご利用ください。

【路線図】

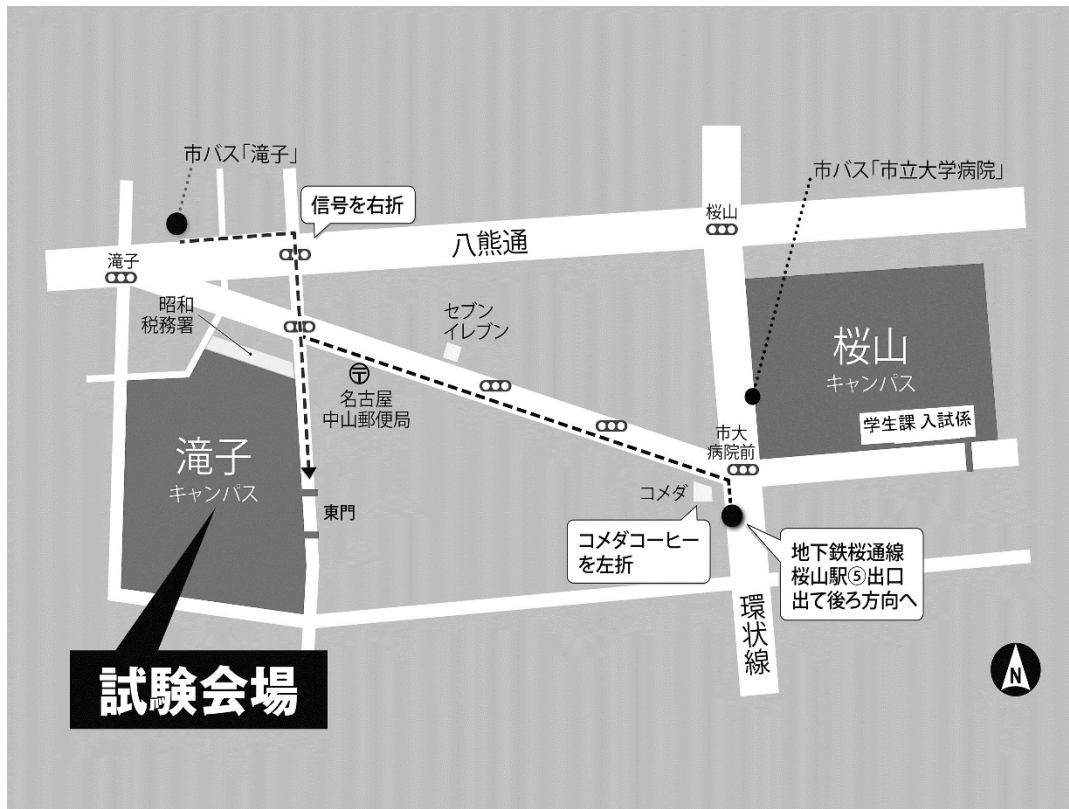


敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにもこの方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

20歳未満の喫煙は法律で禁止されていますが、喫煙が健康に及ぼす悪影響に鑑み、皆さんが本学入学後、喫煙者とならないよう強く希望します。

【付近図】



地下鉄

路線名	下車駅	備 考
桜通線	桜 山	滝子キャンパスへは5番出口から徒歩約10分

市バス

バス停	のりば	市バス経路			下車するバス停	備 考
		系統	起点	行先		
金山バスターミナル	7番	金山11	金 山	池 下	滝 子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滝子通2丁目は一つ手前のバス停ですから注意してください ・ バス所要時間はいずれも約15分 ・ バス停「滝子」から滝子キャンパスまでは徒歩数分
		金山16		瑞穂運動場東		
		金山12		妙見町		
	8番	金山14		桜山経由 瑞穂運動場東		

15 芸術工学部・総合生命理学部の概要

教養教育・専門教育いずれも令和6年度の授業科目を紹介しています。

(1) 教養教育

社会の一員として自己のあり方を認識し、自らよりよき生き方を探求し、あわせて社会全体の幸福の実現に向けて貢献ができるよう、人間形成を図るとともに、専門教育への確かな土台を築くことを意図して、下記のような授業科目を開設し、体系的な教育課程を編成しています。

(芸術工学部、総合生命理学部が履修可能な科目を抜粋して掲載しています。)

区 分		科 目 名
共 通 科 目	大学特色科目	NCUラーニング・コンパス ヘルシーライフ キャリアデザインA・B SDGsを考える(医療系 自然系 数理情報系 社会科学系 人文系) 名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題 科学館・博物館・美術館から知る名古屋 近世名古屋の歴史 大学生から始めるESD まちづくり論 キャリアデザイン(実践編) 起業家になる 地域社会で活躍する女性 ワークライフバランスとダイバーシティ 多文化共生と国際貢献 持続可能な社会と私たち ESDと地域の環境 次世代エネルギーワークショップ
	現代社会の諸相	日本国憲法 なぜ憲法が必要なのか 現代社会と法 知的財産権入門 人と法と医療 国民所得はどう決まるか? ゲームの状況を科学する 公共政策:健康と暮らしの社会科学 はじめての経営学 企業診断ABC 社会科学のデータ分析 社会学A 社会学B 社会学C 新聞報道の現場から 人間の行動・心理と建築 平和論 私たちの暮らしと政 治・行政・地方自治 国際政治 比較政治史 シティズンシップ入門 地域力を高めるひとづくり
	文化と人間性の探求	日本文化の理解 人類学 日本語コミュニケーション 囲碁に学ぶ ヨーロッパの文化と歴史 文化に見る歴史 アメリカ史入門 都市と地域構造の地理学 音楽と文化 デザインと情報 人間と表現 自分とみんなで考える哲学 応用倫理学 心理学概論 心理学入門 西洋の教育と哲学 次世代育成と地域の課題 デジタル時代の 人文学 世界を理解するための宗教学 日本の宗教の歴史と文化 キー・コンピテンシー
	人間と自然	科学史 環境と社会・制度・政治・経済 環境科学 植物の多様性と環境 動物とヒトの進化多様性 社会と医学 くずりと社会 都市と自然 健康と生活 リハビリテーション概論 行動生態学
	自然と数理の探求	教養として知っておきたい様々な病気の実態 創薬と生命 宇宙のなりたち 植物とバイオテクノロジー エネルギーのサイエンス バイオサイエンス入門 情報と数理の世界 データサイエンスへの誘い 地球史入門 地域生態学
	英 語	IS: Community IS: Social Justice IS: Life & Work IS: Health & Well-being IS: The Arts AE: Make a Difference in Your Community AE: Interact Internationally AE: Improve Life Skills AE: Raise Health/Environmental Awareness AE: Produce a Movie CS: Presentation CS: Grammar and Usage CS: TOEIC Preparation CS: Writing EM: World News EM: Popular Culture EM: Reading for Inspiration EM: Online Articles and Videos
	その他の言語	ドイツ語初級・初級会話 フランス語初級・初級会話 中国語初級・初級会話 韓国語初級 スペイン語初級 日本手話初級 ポルトガル語入門 ロシア語入門 イタリア語入門 アラビア語入門
	情報科目	情報リテラシー データサイエンス・リテラシー デジタル表現基礎
	健康・スポーツ科目	健康・スポーツ科学 健康・スポーツ実技
	基 礎 科 目	物 理 学
化 学		化学基礎 化学熱力学基礎 有機化学
生 物 学		基礎生物学 生物学
自然科学実験		自然科学実験
数学・統計学		微分積分学 線形代数学Ⅰ,Ⅱ 統計学B 微分積分基礎 線形代数基礎 微分積分基礎演習 線形代数基礎演習

(2) 専門教育

ア 芸術工学部 情報環境デザイン学科・産業イノベーションデザイン学科・建築都市デザイン学科

[情報環境デザイン学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 情報処理基礎 色彩論 デザイン材料論 人間工学 UXデザイン1 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(D) 構成発想法 表現技法 デジタル表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学部共通実習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基礎科目	情報処理 インタクションデザイン論 サウンドデザイン論 映像論 映像表現論 映像表現演習 メディア工学 メディア工学演習 情報通信工学 情報通信工学演習 データサイエンス データサイエンス演習
展開科目	情報処理応用 感性工学 ユーザビリティ工学 ユーザビリティ工学演習 UXデザイン2 音楽情報論 プロダクトデザイン論 デザイン人類学 広告論 デザイン表象論 視覚環境デザイン論 ロボット工学 ロボット工学演習 生体情報工学 生体情報工学演習 コンピュータグラフィックス論 コンピュータグラフィックス演習 色彩工学基礎
実 習	芸術工学実習(D) 1～6
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

[産業イノベーションデザイン学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 情報処理基礎 色彩論 デザイン材料論 人間工学 UXデザイン1 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(D) 構成発想法 表現技法 デジタル表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学部共通実習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基礎科目	ビジュアルデザイン論 コンピュータグラフィックス論 コンピュータグラフィックス演習 プロダクトデザイン論 視覚環境デザイン論 光電子工学 光電子工学演習 ロボット工学 ロボット工学演習 生体情報工学 生体情報工学演習
展開科目	広告論 視覚情報記号論 デザイン人類学 プロトタイピング工学 プロトタイピング工学演習 音楽情報論 インタクションデザイン論 感性工学 流体工学 情報通信工学 情報通信工学演習 ユーザビリティ工学 ユーザビリティ工学演習 UXデザイン2 色彩工学基礎
実 習	芸術工学実習(D) 1～6
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

[建築都市デザイン学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 情報処理基礎 色彩論 デザイン材料論 人間工学 UXデザイン1 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(A) 構成発想法 表現技法 デジタル表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学部共通実習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基礎科目	建築史 都市計画 建築環境工学 建築環境工学演習 建築構造学 建築計画 建築計画2 近現代建築史 構造力学 構造力学演習 建築環境心理論
展開科目	都市建築関連法規 建築材料 建築材料実験 建築環境計画 建築環境設備計画演習 建築設備論 建築設備設計学 スペースデザイン 建築構造計画法 構造設計法 建築生産 都市住環境論 地域空間構成論 都市景観デザイン論 ファシリティマネジメント論 建築家の仕事

	ランドスケープ設計法
実 習	芸術工学実習 (A) 1～6 建築表現実習1 建築表現実習2 建築都市フィールドワーク
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

イ 総合生命理学部

区 分		科 目 名
専 門 基 礎 科 目		総合理学概論 総合理学実験入門 生命科学実験 物質科学実験 生態学 基礎生理学 適応生理学 進化学Ⅰ 生物統計学 生命情報学Ⅰ 生化学 分子生理学 細胞生物学 分子生物学Ⅰ 物理化学 無機化学 有機合成化学 物理数学 力学発展 物理学演習Ⅰ 地学概論 数学序論 代数学Ⅰ～Ⅱ 代数学演習Ⅰ～Ⅱ 離散数学 幾何学Ⅰ～Ⅱ 幾何学演習Ⅰ～Ⅱ 解析学基礎 解析学Ⅰ～Ⅱ 解析学演習Ⅰ～Ⅱ 複素関数論 コンピュータリテラシー コンピュータサイエンス プログラミングⅠ プログラミングⅠ演習
専 門 科 目	生命科学科目	生態測定学 応用生理学 古生物学 進化学Ⅱ 生命情報学Ⅱ 植物生理学 応用生物学 発生生物学 生物機能化学 分子遺伝学 分子生物学Ⅱ 遺伝生化学 総合神経科学 放射線生物学 生命科学各論
	物質科学科目	有機量子化学 機器分析化学 量子力学 物理学演習Ⅱ 統計力学 物性物理学 天体物理学 物質科学各論
	数 理 情 報 科 学 科 目	代数学Ⅲ 代数学演習Ⅲ 幾何学Ⅲ 幾何学演習Ⅲ 解析学Ⅲ 解析学演習Ⅲ 確率論 応用統計学 プログラミングⅡ 情報数学A, B 数理情報科学各論
卒業研究関連科目		総合理学実習 専門演習Ⅰ～Ⅲ 卒業研究Ⅰ～Ⅲ
外 国 語 科 目		自然科学英語 グローバルコミュニケーション
専 門 関 連 科 目		総合博物学 数学教育法A～D 理科教育法1, 2 教育学概論2 教職概論2 教育制度論 学校教育心理学 特別支援教育2 教育課程論 教育史 教育社会学 道德教育 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法論2 ICT活用教育論 生徒・進路指導論 教育相談 介護等体験実習 中学校教育実習 高等学校教育実習 教職実践演習(中・高)

<注意>

学生募集要項および出願書類所定用紙は名古屋市立大学ウェブサイトで公表し、紙媒体での配布は行っていません。

■連絡先：名古屋市立大学 学生課入試係 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
TEL(052)853-8020 FAX(052)841-7428 E-mail : shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp

●令和6年10月公表